

## Forward to 1985 energy life 全国省エネミーティングとは

(一社)Forward to 1985 energy lifeが2011年より開催している、家庭部門での省エネルギー手法を普及するためのイベントです。「家庭部門での省エネルギー手法」は、各家庭で行われるアクションが主体ではありますが、それを喚起し、手助けする動きもとても重要です。本ミーティングでは、“家”という生活の器をつくる役割を果たす地域の工務店や設計事務所の活動、そして、そんな住宅建築実務者と行政がタッグを組んで行う活動の事例紹介や、今後の活動に向けての意見交換も行います。これから益々温暖化対策や省エネルギーへの取り組みが必要になってくる時代、様々な立場の人が、それぞれにできることを見つけられる場となれば幸いです。



過去開催の様子

### 申込方法

▼QRコードはこちら



会場参加の方も、オンライン視聴の方も、左記QRコードのサイトからお申し込み下さい。

#### 会場参加の方

折り返し受付票がメールにて届きますので、当日はプリントアウトして会場へお持ち下さい。

#### オンライン視聴の方

開催前日までに視聴頂くための情報をメールにてお送りします。当日はご自宅や事務所からご視聴下さい。

#### 後援

東京都環境局・埼玉県・山梨県・所沢市・草加市・一般社団法人地球温暖化防止全国ネット・東京都地球温暖化防止活動推進センター・認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉

#### 協賛

(株)LIXIL・高千穂シラス(株) テリウヒーター(株)・(株)山長商店・渡辺パイプ(株)・リンナイ(株)中国支店・ユダ木工(株)・コスモプロジェクト(株)

#### 主催

(一社)Forward to 1985 energy life 埼玉県さいたま市緑区中尾1250-7 TEL 048-678-5367



### 神田明神ホール

住所: 東京都千代田区外神田2-16-2

#### 交通アクセス

JR 中央線・総武線[御茶ノ水]駅 徒歩5分

JR 京浜東北線・山手線[秋葉原]駅 徒歩7分

東京メトロ 丸ノ内線[御茶ノ水]駅 徒歩5分

※できるだけ公共交通機関でご来場下さい。



Forward to **1985** energy life

## 第10回 全国省エネミーティング in 東京

# 行政・民間の協働を模索する

～2050年カーボンニュートラル実現に向けて～

日時

2022年**11月16日** 水

12:15開場 13:00～17:00

会場

東京都千代田区外神田2-16-2神田明神ホール

2050年カーボンニュートラルに向けた議論が各部門で活発になり、産業部門や創エネについては議論が進んでいますが、「家庭部門の省エネルギー」が扱われる場面はまだ多くありません。家庭部門は国民全員が関与できる部門であり、家庭内での意識・行動が変われば、他部門への波及効果を生み、日本のすべての部門での脱炭素・省エネに繋がります。ここで重要なのが、「誰が国民に家庭部門での活動の重要性を伝え、具体的な行動に移してもらうか」です。行政と民間がタッグを組み、施策と具体策を効率的に市民に伝えられれば、各々が個別に働きかけるよりも、遥かに実効性の高い施策となるのではないのでしょうか。今回の全国省エネミーティングでは、行政と民間の垣根を超えて、各々のもつ先進事例や施策を共有し、行政と民間が一体となって市民に働きかける方法を模索します。

会場定員100名、オンライン視聴も可能です  
行政の方、住宅に関わる方、一般市民の方どなたでも参加可能です

参加費  
無料



# プログラム

|       |   |
|-------|---|
| 13:00 | 開会  |
| 13:05 | <b>第一部</b> 開会挨拶・1985アクションについて<br>(一社)Forward to 1985 energy life 代表理事 辻裕介 |
| 13:30 | <b>第二部</b> 行政の取り組み事例<br>[東京都] [所沢市] [川口市]                                 |
| 15:00 | <b>第三部</b> 民間の取り組み事例<br>[川崎信用金庫] [Forward to 1985 energy life]            |
| 15:45 | <b>第四部</b> パネルディスカッション「行政・民間の協働を模索する」<br>第二部～第三部登壇の皆様                     |
| 17:00 | 閉会  |

Forward to **1985 energy life**

## 「1985アクション」とは

1985年頃から2倍に増えている家庭で使用する電気消費量と合計エネルギー消費量を、ともに今の半分(1985年レベル)にしようとする国民運動です。

一般生活者の方への情報提供、住宅建築実務者の方への専門的なセミナーの開催、行政の方との連携、書籍の出版、イベントの開催等を通して、「小さなエネルギーで豊かに暮らせる社会」の実現を目指しています。

我慢ではなく、楽しく、かしこく実行しながら、この目標を2030年頃までに達成する。

これが1985アクションの目標です。



# 事例発表概要



登壇者 東京都 環境局 制度調整担当 部長 関威様

## 「ゼロエミッション東京」の実現を目指して

東京都は、脱炭素化とエネルギーの安全保障の一体的実現を図ることを目的に、エネルギーを④減らす①創る①蓄めるという「HTT」の観点から様々な施策を展開しています。本年9月には「新築住宅等への太陽光発電設置義務化」の基本方針を策定したほか、省エネ性能の高い「東京ゼロエミ住宅」や既存住宅の断熱改修等に対する補助などを行い、家庭部門における脱炭素に向けた取組を推進しています。



登壇者 所沢市 マチごとエコタウン推進課 ゼロカーボンシティ推進室 主任 石川翔一様

## “人と人”、“人と自然”との絆で、子どもたちの未来を紡ぐエコタウン所沢

「環境基本計画」と、今後の市としての在り方を示した「マチごとエコタウン所沢構想」の2つを引き継ぎ、「所沢市マチごとエコタウン推進計画」を策定しました。「持続可能な環境づくり」「共生を実現する環境づくり」「市民協働による環境づくり」を基本理念に、2023年までの5年間は低炭素プロジェクト等を重点実施計画と位置づけて、官民連携のソーラーシェアリング『ところざわ未来電力』等の事業を行っています。



登壇者 川口市 地球温暖化防止活動推進センター 事務局長 浅羽理恵様

## 様々な“主体”を繋いで環境配慮型の社会へ

川口市における地球温暖化防止活動を推進するため、2019年から認定NPO法人川口市市民環境会議が「川口市地球温暖化防止活動推進センター」を運営しています。センターでは地球温暖化防止対策の普及啓発、地球温暖化に関する学習の支援、市民からの相談対応、情報発信等を行っており、具体的には学校等への出前授業「エコ・スクール」やSNSを活用した情報発信等を行っています。



登壇者 総合企画部 副部長 山本浩之様

## 行政との連携による地域の脱炭素に向けて

2020年に川崎市が脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定し、それに賛同したことがきっかけで再エネ100宣言RE Actionにも参加しています。建て替え店舗の電気を再エネ100%プランで契約する、事務センター屋上に太陽光発電システムを導入するといった経験を地域の皆様に還元するため、川崎市と共同で川崎市SDGsプラットフォームの事務局を務め、情報発信を行っています。



登壇者 1985地域アドバイザー拠点 小嶋直

## “住宅”からエネルギー問題解決へ

2012年から「暮らし省エネマイスター検定」や「温熱カレッジ」等を主催し、住宅建築実務者に省エネ設計の手法や、生活者へのアドバイスの方法をお伝えしています。暮らし省エネマイスター資格者は1,000人を超え、こうした住宅建築実務者は、省エネな住宅を建築するだけでなく、各地域で行政や民間施設と協力して、一般生活者の皆様にに向けた普及啓発活動を展開しています。